

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 18 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 20 日 作成

事務事業名		妊婦歯科健診事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	中山 輝一郎
	施策	15	健康づくりの推進			所属課	健康づくり推進課	担当者名	東 亜紀
	基本事業	44	病気の早期発見			所属班	健康推進班	(内線)	2169
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	成果優先度評価結果	3
		1	4	1	6	10372		コスト削減優先度評価結果	11
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 16 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	・市内の歯科医院で歯科健診を受けることにより、むし歯や歯周疾患を予防及び早期発見・早期治療につなげる事業 ①実施方法:母子手帳発行時、転入時に受診券を窓口で交付。受診希望者が市内委託歯科医院(H20年度:16医療機関、H21年度:15医療機関)へ予約し受診。受診の際は受診券と母子手帳を持参。料金:無料。(3,500円全額市の負担) ②対象者:母子手帳を発行した妊婦及び年度途中の転入者(妊婦)へ転入時に受診券を窓口で交付する。 ③実施期間:通年・旧合志町にてH16年度より実施。歯科保健連絡会議にて、歯科医師より妊婦の歯科健診の必要性を指摘され開始。合併後、全市を対象とした。 ・近年歯周疾患とお産(早産や低出生体重児)との関係があると言われ、妊婦への歯科健診の必要性が高まっている。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	市内歯科医院との契約、必要書類を渡す→対象者への受診券発行及び説明のほか、広報誌に掲載しPR。→受診後、医療機関への支払い事務、健診データの整理及び入力。
【主な予算費目】	委託料、需用費(印刷製本費)
【意見や要望】	窓口で妊婦さんより、「無料で受けられるんですね。是非、行ってみます。」「早産や低体重児出産と歯周疾患が関係あることを知ってびっくりしました。」との声がある。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
① 手段(主な活動)	21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	市内歯科医院との契約、必要書類を渡す。対象者への受診券発行及び説明のほか、広報誌に掲載しPR。平成22年度より、受診券発行時に歯周疾患が妊婦に及ぼす影響についての啓発チラシ(手作り)を配布しての説明を開始する。受診後、医療機関への支払い事務、健診データの整理及び入力。	
市内歯科医院との契約、必要書類を渡す。対象者への受診券発行及び説明のほか、広報誌に掲載しPR。受診後、医療機関への支払い事務、健診データの整理及び入力。			
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標	(単位)	(単位)	
⇒ア 受診者数	人	イ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)		
妊婦	⇒ア 合志市妊婦数 人		
⇒イ			
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)		
むし歯・歯周疾患の早期発見ができる。	⇒ア 受診率 %		
⇒イ			
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠			
健診を受診することが、むし歯や歯周疾患の早期発見につながるため、受診率を成果指標に設定した。平成22年度より、啓発チラシを配布しての周知を開始するので、平成21年度よりも受診率が向上することを期待し、目標値の設定を行った。			

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度実績(決算)	20年度実績(決算)	21年度目標(当初予算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	23年度予定	24年度見込
④ 活動指標	ア	人	120	172	190	168	220	240	260
	イ								
⑤ 対象指標	ア	人	641	685	740	737	790	790	790
	イ								
⑥ 成果指標	ア	%	18.7	25.1	25.6	22.8	27.8	30.3	32.9
	イ								
投資入量	事業内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円	438	617	455	605	734	734
	(A) 事業費計	千円	438	617	455	605	734	734	734
	(A)のうち指定経費	千円							
	(A)のうち時間外、特勤	千円							
人件費	正規職員従事人数	人	1	2	1	1	1	1	1
	延べ業務時間	時間	280	250	280	100	280	280	280
	(B)人件費計	千円	1,112	1,000	1,114	398	1,114	1,114	1,114
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,550	1,617	1,569	1,003	1,848	1,848	1,848

総トータルコスト	全体計画	～ 年度
(期間限定複数年度のみ記載)		
		0
		0
		0

合志市

事務事業名	妊婦歯科健診事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり推進課
-------	----------	-----	-------	-----	----------

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 ↷
	21年度と同等の成果にはなっているが、目標値には到達しなかった。妊娠中は、つわり等の関係で歯科受診が困難な場合があるため、なかなか期待しているような受診率の向上が難しいと考える。		
有効性評価	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
	平成22年度より、受診券交付時に啓発チラシ(手作り)の配布を開始し、さらなる周知徹底を図る予定のため、受診率の向上が期待できるのではないかと考える。		
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	平成22年度より、受診券交付時に、歯周疾患が妊婦に及ぼす影響についての啓発チラシ(手作り)の配布を行い、さらなる周知徹底を行っていく。		
有効性評価	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
	類似事業がないため。		
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	専門的知識と技術を要するため委託して実施している。委託料は医療保険点数の基準に準じているため、削減余地はない。		
効率性評価	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	契約方法、支払い事務等最低限の職員で実施しているため、削減余地がない。		
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
	現在健診料金は無料となっている。受益者負担を検討していく余地はある。		
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷
	健診については、市内歯科医院に委託して行っており、役割分担は適正である。		

3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

<p>平成21年度は、平成20年度と比較すると、受診率が減少している。 平成22年度より、受診券交付時に、歯周疾患が妊婦に及ぼす影響についての啓発チラシ(手作り)の配布を行い、さらなる周知徹底を行っていく。現在健診料金は無料となっている。受益者負担を検討していく余地はある。</p>

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 平成22年度より、受診券交付時に、歯周疾患が妊婦に及ぼす影響についての啓発チラシ(手作り)の配布を行い、さらなる周知徹底を行っていく。現在健診料金は無料となっている。受益者負担を検討していく余地はある。	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下		
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 受益者負担については、歯科保健連絡会議等の場において今後検討していく。																						